

「イノベーション・ジャパン 2016」に板子研が出展し大学院生と学部生が発表しました

8月25日(木)～26日(金)「東京ビックサイト」にて、国内最大規模の産学マッチングイベントである「イノベーション・ジャパン 2016」～大学見本市&ビジネスマッチング～〔主催：独立行政法人科学技術振興機構(JST)、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)〕が開催され、本学科の板子研究室が採択され以下の内容を大学院生の王亜東さんと学部生の望月優作さんが発表しました。

「太陽電池の欠陥セル検出装置の開発」(低炭素・エネルギー分野)〔研究者名：電気電子情報工学科教授 板子一隆〕

公的研究機関、関連企業の研究者など多数の来場者があり、研究成果の応用に関する質問及びアドバイス、事業化に関する期待等積極的な意見が多数出され、有意義なものとなりました。

